

- 2 面 令和 8、9 年度 日造協 委員会・部会等一覧
3 面 第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波のご紹介
【学会の目・眼・芽】魅力ある造園を発信する人材養成と育成の連携
(公社) 日本造園学会会員、西日本短期大学緑地環境学科 学科長・教授 西川真水
4 面 【ふるさと自慢】 緑と歴史が織りなす「亀岡」都市緑化フェアの舞台を巡る
京都府支部 田中 孝 (株) 右京野造園
【緑滴】 継続は力なり 埼玉県支部 中田裕子 (株) 好樹園



©Expo 2027

令和 8 年熊本地震においてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様と被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

若年者ものづくり競技大会 造園競技に 23 名が参加 小早川選手が金賞を受賞



金賞を受賞した小早川選手の商品

第 21 回若年者ものづくり競技大会が 8 月 1～2 日に富山県の 3 会場にて開催された。

本大会は、厚生労働省と中央職業能力開発協会 (JAVADA) の主催により、高等学校等で技能を習得中の企業等に就業していない 20 歳以下の若年者を対象に、日々学校や訓練等で培った技能を競い合うことで次世代のものづくり産業を担っていく若き技能者の育成を目的に開催されている。

今年度は造園を含め 15 職種で競技が実施され、造園競技は 3 会場のうち富山産業展示館 (テクノホール) にて開催、高校生や専門学校生 23 名が出場した。

競技内容としては、決められた課題を 2 × 1.5 m 区画に、制限時間 (3 時間半) 内に一人作業で作庭するというものである。

四つ目垣の作成や乱張り、石積み、植栽など技能検定 2 級レベルの課題に取り組み、岡山県立興陽高等学校の小早川桃葉選手が金賞を受賞した。

今後も技能者を目指す若者のさらなる増に繋げていくとともに、造園業界としてもこの大会を通じ、技能技術をより一層研鑽し、全国各地の優れた若い技能者と交流できる意義深い機会になることを期待したい。

技術委員会 技能五輪等部会 香取 太

樹林

(一社) 日本造園建設業協会理事

(株) 富士植木 代表取締役 成家 岳



みどりの素晴らしさの実感と理解を増す機会に

大阪万博が大盛況のうちに終わってもうすぐ一年、つい先日までサッカーワールドカップも世界中で盛り上がり、多くの興奮と感動と睡眠不足をもらうことができました。

そして、次はいよいよ GREEN × EXPO 2027 が近づいてきています。

先日の総会では脇坂隆一国際園芸博覧会協会推進戦略室長による「GREEN × EXPO 2027 に行こう!」との講演会で会場の準備状況を伺い、総会と意見交換会にはトウクタウンクも来てくれました。もうすぐ開催だと改めて実感が湧いてきました。

我々、造園関係者としては 1990 年以降のビッグイベントだと誰もが認識しているし、私自身も非常に楽しみにしています。

一方で、ピンバッジを見た人から「それ何?」と聞かれることも多くあります。トウクタウンクが知られていないだけなのかと思い、「来年、横浜で園芸博覧会がありますよ」と言っても、再び「それ、何?」と返されてしまいます。

横浜のすぐ近くの東京ですらまだまだ興味のある人以外には認知されていないのが現状のようです。

しかし、ピンバッジに興味を持ってもらえたら、こちらに引き付けたも同然ではないでしょうか。

GREEN × EXPO 2027 について説明したところぜひ行きたいとの心強い言葉をもらい、ポスターを持っていったら貼って、ほかの人にも宣伝してくれることになりました。

まさに外部応援団ができた瞬間です。先日入手したポスターはすべて多くの一般の方の目に留まるところに配布、貼ってもらいました。

このようなやり取りとなったのは私の実感があるからです。毎年春先

細川造園 (株) 代表取締役
間世田 吉宣 (56 歳) 鹿児島県鹿児島市
(株) 桂造園 代表取締役

に弊社の前に仮設のボタンの棚を作って飾ると、道を通る人が足を止めて鑑賞したり、写真を撮ったりしています。

さらに気軽に声をかけてもらうことも多く、SNS に上げてくれる人もいます。こちらも応援団が拡散してくれたということです。潜在的に花が好きなのは多いし、緑や花には我々が思っている以上に力があるのではないのでしょうか。

GREEN × EXPO 2027 のピンバッジやリストバンド、キーホルダーなどを付けたり、ポスターを一般の人の目につくところに貼ってもらったりするなどのちょっとしたことを我々造園関係者が少しずつしなければならぬのではないのでしょうか。

多くの一般の方に認識してもらって、会場に足を運んでもらって大成功になるようにしなければなりません。

そして GREEN × EXPO 2027 の大成功によって造園や園芸、みどりの素晴らしさを実感してもらうとともに我々の仕事への理解が増すことによって環境問題への関心や大切さ、価値を高めることができる絶好の機会にしましょう。

また、会場を見学して、造園関連の仕事をしてみたいと思う人が一人でも増えれば、業界のさらなる活性化も進むこととなります。

90 年の大阪花博でガーデニングブームが起きたように、今回の GREEN × EXPO 2027 ではどんなことが起きるのでしょうか。ぜひ、次の世界を見てみたい希望に満ちています。

それに向けて、皆で少しずつ種蒔きをして大きなうねりになるようにしていこうではありませんか。

人事異動

国土交通省都市局関係 (7 月 31 日付) 辞職＝湯澤将憲 (大臣官房付) 公園緑地・景観課長＝舟久保敏 (参事官 (国際園芸博覧会担当)) 参事官 (国際園芸博覧会担当)＝須藤明彦 (まちづくり推進課長)

(8 月 7 日付) 官房審議官 (都市生活環境 (併) 国際園芸博覧会)＝片山壮二 ((公園緑地・景観課長) 7 月 31 日付 大臣官房付)

令和 8 年度 国土交通大臣表彰

日造協 5 氏受賞 多年造園工事業に精励・業界の発展に

国土交通省は 7 月 9 日付で、令和 8 年度の国土交通大臣表彰受賞者を公表した。

日造協関係者からは 5 氏が都市計画事業関係で「多年造園工事業に精励するとともに関係団体の役員として (地方) 業界の発展に寄与した」ことから、国土交通大臣表彰を受賞した。

表彰式は 7 月 10 日 (金)、東京都千代田区霞が関の国土交通省共用大会議室で行われ、今年度は 228 人、2 団体が表彰された。



小島 裕史 氏



古積 昇 氏



中嶋 和敏 氏



細川 勝 氏



間世田 吉宣 氏

〈都市計画事業関係〉
小島 裕史 (63 歳) 京都府京都市
(株) 小島庭園工務所 代表取締役
古積 昇 (57 歳) 宮城県岩沼市
古積造園土木 (株) 代表取締役
中嶋 和敏 (57 歳) 愛知県あま市
(株) 中嶋造園土木 代表取締役
細川 勝 (64 歳) 石川県金沢市

(一社) 日本造園建設業協会 令和8、9 年度 日造協 委員会・部会等一覧

紺字：新任

総務委員会

委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員 (太字：部会長)
【委員長】 小川 巧				大柴 信吾 (東京) ㈱石勝エクステリア 阪上 隆功 (埼玉) ㈱清香園 佐藤 正幸 (千葉) 藤木園緑化土木㈱ 石渡 浩 (東京) 箱根植木㈱ 小川 巧 (東京) 西武造園㈱ 笛木 学 (東京) 東光園緑化㈱ 藤巻 慎司 (神奈川) 藤造園建設㈱ 山崎 信幸 (長野) ㈱長遊園 小立 亮 (島根) ㈱小立造園 内山 剛敏 (福岡) 内山緑地建設㈱
【副委員長】 四宮 繁 中山 忠 大柴 信吾 持田 正樹 成家 岳	・会務報告、事業計画 ・規約・規程等 ・総支部及び支部関連事項 ・財務管理 ・会費徴収	財政・運営部会	・総会運営 ・事業報告、事業計画案の立案 ・決算報告、収支予算の立案 ・諸規程の立案 ・財政・運営中期計画の点検・評価	持田 正樹 (島根) ㈱もちだ園芸 四宮 繁 (北海道) ㈱四宮造園 鈴木 誠司 (東京) ㈱日比谷アメニス 田中 利明 (滋賀) 花文造園土木㈱ 西上 大輔 (愛媛) 協和環境整備工業㈱ 田維 裕一 (長崎) ㈱庭建 下地 浩之 (沖縄) ㈱西原農園
【担当理事】 高須賀盛満		財政基盤強化部会	・会員要件拡大策の立案 ・財政基盤強化策の立案 ・入会促進具体化策の立案 ・会員サービス向上策の立案	持田 正樹 (島根) ㈱もちだ園芸 四宮 繁 (北海道) ㈱四宮造園 鈴木 誠司 (東京) ㈱日比谷アメニス 田中 利明 (滋賀) 花文造園土木㈱ 西上 大輔 (愛媛) 協和環境整備工業㈱ 田維 裕一 (長崎) ㈱庭建 下地 浩之 (沖縄) ㈱西原農園
【委員】 北原 誠 山崎 信幸 岸 省悟 上田 誠 岡本 秀一 中尾正太郎 安藤由一朗 森根 清昭	・建設業関連法令制度 ・入札契約制度 ・経営合理化方策 ・業界の地位向上のための施策検討	経営環境改善部会	・経営・雇用環境改善に関する情報収集・発信 ・会員実態調査の企画・分析 ・外国人材の受け入れ制度への検討 ・団体保険制度の改善策の検討 ・標準見積書に関する検討 ・社会保険加入徹底への検討	小川 巧 (東京) 西武造園㈱ 水庭 博 (茨城) ㈱水庭農園 砂押 一成 (茨城) ㈱砂押園芸 高木 俊之 (埼玉) 国土緑工㈱ 遠藤 征矢 (埼玉) 東光ローンコンサルタント㈱ 佐藤 善一 (千葉) 千葉造園土木㈱ 大場 淳一 (東京) ㈱大場造園 菅原 健二 (東京) 東光園緑化㈱ 岩井 雅彦 (神奈川) サカタのタネグリーンサービス㈱
	・普及啓発及び広報活動 ・広報紙の編集・発行 ・造園業に関する情報、資料の収集	広報活動部会	・広報パンフレットの企画立案 ・HPの運営企画 ・日造協ニュースの発行 ・メールニュース等による情報提供・情報交換の立案 ・全国造園フェスティバル企画立案 ・造園産業のアピールの立案	成家 岳 (東京) ㈱富士植木 小松 恭子 (宮城) 東洋緑化㈱ 水庭 博 (茨城) ㈱水庭農園 田上 貴 (埼玉) ㈱大利根造園 中村 国雄 (埼玉) ㈱東農園 角田 優佳 (千葉) 植忠造園土木㈱ 前杉 昌枝 (東京) 西武造園㈱ 矢部 真樹 (東京) 東武緑地㈱ 相原早紀子 (東京) ㈱日比谷アメニス 桑原 亘基 (神奈川) 湘南造園㈱
	・その他総務関連事項と他の委員会に属さない事項	総務企画部会	・総務委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	小川 巧 (東京) 西武造園㈱ 大柴 信吾 (東京) ㈱石勝エクステリア 持田 正樹 (島根) ㈱もちだ園芸 成家 岳 (東京) ㈱富士植木

技術委員会

委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 伊藤 幸男				佐藤 英介 (東京) ㈱石勝エクステリア 渡邊 章 (埼玉) ㈱八廣園 石井 匡志 (東京) アゴラ造園㈱ 中村 秀樹 (東京) 内山緑地建設㈱東京支店 村岡 賢二 (東京) 西武造園㈱ 角幡 大亮 (東京) ㈱富士植木 小山 博樹 (神奈川) ㈱やまなか園建設
【副委員長】 石出慎一郎 金城健太郎 佐藤 英介 大場 淳一 卯之原 昇 中島 祥之	・造園技術・技能の研究開発 ・自然及び生活環境の整備技術 ・造園工事の合理的な施工に関する調査研究	技術・技能調査部会	・技術、技能の継承に関する検討 ・品質管理、工程管理、工事仕様書、積算基準の検討 ・造園新技術の情報収集・発信 ・他団体との技術意見交換 ・施工管理に携わる技術者の人材育成研修の企画・立案・推進	大場 淳一 (東京) ㈱大場造園 尾形 伸也 (宮城) ㈱ミドリ企画 河野 友和 (東京) 東武緑地㈱ 石川 正典 (神奈川) ㈱植藤 藤井 信良 (神奈川) 河津造園土木㈱ 井上 勝裕 (京都) ㈱植芳造園 當内 匡 (大阪) ㈱庭樹園 中村 幸樹 (佐賀) ㈱永楽園
【担当理事】 北 総一郎		造園技術フォーラム部会	・造園技術フォーラムの開催企画 ・技術情報発信・共有化の企画立案 ・DX等の技術情報発信	大場 淳一 (東京) ㈱大場造園 尾形 伸也 (宮城) ㈱ミドリ企画 河野 友和 (東京) 東武緑地㈱ 石川 正典 (神奈川) ㈱植藤 藤井 信良 (神奈川) 河津造園土木㈱ 井上 勝裕 (京都) ㈱植芳造園 當内 匡 (大阪) ㈱庭樹園 中村 幸樹 (佐賀) ㈱永楽園
【委員】 吉田 巧 増田 博一 伊藤 志朗 近藤 秀徳 的場 盛州 菱川 清 西原 厚博 古賀 正	・安全	安全部会	・造園工事の安全衛生・労働災害の企画・立案・推進 ・事故発生状況の情報収集とりまとめ ・造園用フルハーネス普及の企画・立案・推進	中島 祥之 (奈良) 花佐造園㈱ 田中 祐司 (東京) ㈱石勝エクステリア 高田 和己 (東京) 東武緑地㈱ 伊藤 弘幸 (東京) 日産緑化㈱ 小林 憲明 (東京) ㈱日比谷アメニス 内田 卓弘 (神奈川) ㈱内田造園
	・その他技術関連事項	技術企画部会	・技術委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	伊藤 幸男 (東京) ㈱日比谷アメニス 佐藤 英介 (東京) ㈱石勝エクステリア 大場 淳一 (東京) ㈱大場造園 卯之原 昇 (東京) ㈱昭和造園 中島 祥之 (奈良) 花佐造園㈱

国際委員会

所掌事務	調査・検討事項	部会委員
・国際交流及び協力事業 ・国際園芸家协会 ・国際園芸博覧会	・海外プロジェクト情報の収集・発信 ・海外からの問い合わせ等への対応の検討 ・世界各国の造園関連等情報の収集 ・海外日本庭園再生プロジェクト情報の収集・発信 ・海外日本庭園保全・再生活動の企画・立案・推進 ・日本庭園文化の情報発信 ・海外造園関連団体との交流企画 ・AIPH 活動の企画・立案・推進・情報発信 ・World Urban Parks-Japan 等の連携企画 ・各地域からの検討事項収集	山田 拓広 (京都) 花豊造園㈱ 近 陽一郎 (新潟) ㈱新潟造園土木 藤本 篤靖 (山口) ㈱下関植木 藤田 良司 (福岡) ㈱九州造園 松本 朗 (東京) ㈱富士植木 當内 匡 (大阪) ㈱庭樹園 西谷 勝之 (鳥取) 山陰緑化建設㈱ 廣部 修平 (北海道) ㈱南香園 佐藤 康之 (岩手) ㈱仙北造園 田口 英明 (神奈川) 田口園芸㈱ 大島 健資 (愛知) 大島造園土木㈱ 古家 敏弘 (香川) ㈱山地宝松園 森根 清昭 (沖縄) ㈱海邦造園 中村 敬太郎 (群馬) 前橋園芸㈱ 清水 遠 (東京) 西武造園㈱ 関根 武 (東京) 内山緑地建設㈱ 辻井 博行 (滋賀) ㈱辻井造園

2027 年国際園芸博覧会特別委員会

・2027 年国際園芸博覧会関連事項	鈴木 義人 (㈱柳島寿々喜園) 山田 拓広 (花豊造園㈱) 井内 優 (㈱井内屋種苗園) 正本 大 (みずえ緑地㈱) 伊藤 幸男 (㈱日比谷アメニス)	卯之原 昇 (㈱昭和造園) 小川 巧 (西武造園㈱) 荻野 淳司 (アゴラ造園㈱) 藤田 良司 (㈱九州造園) 古積 昇 (古積造園土木㈱)	藤巻 慎司 (藤造園建設㈱) 岩井 雅彦 (サカタのタネグリーンサービス㈱) 田口 正典 (㈱田口園芸) 顧問：和田 新也 (箱根植木㈱)
--------------------	---	--	--

事業委員会

委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 正本 大				山田 通明 (群馬) ㈱山梅 室橋 智 (東京) 物林㈱ 石井 直樹 (神奈川) 石井造園㈱ 堤 明伸 (山梨) ㈱津々美造園 野村 英樹 (岐阜) イビデングリーンテック㈱ 窪田 洋 (奈良) ㈱ガーデニングヤマト 小林 大祐 (京都) ㈱小林造園
【副委員長】 塩崎 敏裕 池下 大介 山田 通明 森川 昌紀 佐藤 正幸	・研修・教育	全国造園デザインコンクール等推進部会	・全国造園デザインコンクール実施計画の立案 ・造園教育関連機関等との連携強化の企画・立案・推進	森川 昌紀 (埼玉) 東洋ランテック㈱ 菊地 章博 (群馬) ㈱菊地造園土木 大木 厚男 (東京) ㈱石勝エクステリア 坂井 丈浩 (東京) イビデングリーンテック㈱ 伊津野 誠 (東京) 日産緑化㈱ 坪川栄一郎 (福井) 愛福園 小林 大祐 (京都) ㈱小林造園 下湯 一弘 (宮崎) 大新造園㈱
【担当理事】 佐々木創太		人材育成部会	・地域リーダーズ活動支援 ・経営力向上に関わる情報提供 ・造園施工管理技術検定受験対策講習の企画立案 ・職長・安全衛生責任者講習の企画立案 ・造園 CPD への対応検討	小林 大祐 (京都) ㈱小林造園 中川 大佑 (石川) ㈱吉村植木園 細田 洋介 (北海道) ㈱細田造園 三浦 哲 (青森) ㈱三浦造園 山田 通明 (群馬) ㈱山梅 中原 真人 (愛知) 三河造園㈱ 高木 慎吾 (滋賀) ㈱高木造園 青木 浩平 (岡山) 瀬戸内造園㈱
【委員】 阿部 哲也 菅野 貴 丸山 晶己 南 雅義 梶岡 美生 高取 陪生 神谷 朝太	・その他事業関連事項	地域リーダーズ	・国交省等との意見交換の企画 ・総支部・支部実施の地方整備局等への要望活動への支援企画 ・要望・提言活動の情報共有化推進企画	佐藤 正幸 (千葉) 藤木園緑化土木㈱ 佐々木創太 (秋田) むつみ造園土木㈱ 小島 孝志 (東京) アゴラ造園㈱ 関根 武 (東京) 内山緑地建設㈱東京支店 寺崎 俊司 (東京) 西武造園㈱ 東野 恭樹 (東京) イビデングリーンテック㈱ 岡部 一郎 (神奈川) ㈱東開造園土木 堤 明伸 (山梨) ㈱津々美造園
		事業企画部会	・事業委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	正本 大 (広島) みずえ緑地㈱ 山田 通明 (群馬) ㈱山梅 森川 昌紀 (埼玉) 東洋ランテック㈱ 佐藤 正幸 (千葉) 藤木園緑化土木㈱

資格制度委員会

委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 荻野 淳司				中村 秀樹 (東京) 内山緑地建設㈱東京支店 齊藤 典之 (千葉) ㈱生光園 大場 二郎 (東京) ㈱大場造園 菅原 浩人 (東京) 大森造園建設㈱ 根本喜代孝 (東京) ㈱根本造園 鈴木 義人 (東京) ㈱柳島寿々喜園 野間 秀行 (京都) ㈱野間造園
【副委員長】 今西 康彰 佐藤 淳八 中村 秀樹 高石 正弘 齊藤 典之	・資格の認定 ・資格の普及及び活用	緑地樹木・街路樹剪定士部会	・街路樹剪定士制度の運営 ・緑地樹木剪定士制度の運営 ・実施計画の立案 ・制度の普及、改善、運営効率化の企画	高石 正弘 (京都) ㈱高石造園土木 石出慎一郎 (宮城) 東洋緑化㈱ 荻野 淳司 (東京) アゴラ造園㈱ 間庭 直行 (東京) ㈱昭和造園 笛木 学 (東京) 東光園緑化㈱
【担当理事】 執行 英利		植栽基盤診断士部会	・植栽基盤診断士制度の運営 ・実施計画の立案 ・制度の普及、改善、運営効率化の企画	齊藤 典之 (千葉) ㈱生光園 大木 厚男 (東京) ㈱石勝エクステリア 奈須 正典 (大阪) ㈱奈須造園 稲富 俊広 (徳島) ㈱稲富造園
【委員】 喜多 伸行 守屋 勇樹 依田 忠 足田 信博 岩間紀久裕 福島 慶一 稲富 俊広 赤嶺 大佑	・その他資格関連事項	登録造園基幹技能者部会	・登録造園基幹技能者講習の運営 ・実施計画の立案 ・制度の普及、改善、運営効率化の企画 ・建設キャリアアップシステムに関する造園技能者能力評価業務の運営	荻野 淳司 (東京) アゴラ造園㈱ 中村 秀樹 (東京) 内山緑地建設㈱ 高石 正弘 (京都) ㈱高石造園土木 齊藤 典之 (千葉) ㈱生光園

造園領域発展戦略委員会

委員	所掌事務	部会名	調査・検討事項	部会委員
【委員長】 古積 昇				藤巻 慎司 (神奈川) 藤造園建設㈱ 酒井 利明 (秋田) アルファグリーン㈱ 岩井 雅彦 (神奈川) サカタのタネグリーンサービス㈱ 横田 純 (神奈川) 横浜緑地㈱ 青柳 裕之 (新潟) グリーン産業㈱ 谷水 康行 (兵庫) ㈱さくら緑化 木上 善貴 (熊本) 木上梅香園㈱ 下地 浩之 (沖縄) ㈱西原農園
【副委員長】 久郷 慎治 小立 亮 藤巻 慎司 水庭 博 酒井 一江 松戸 克浩	・造園領域発展戦略の検討	戦略立案部会	・日造協活動の成果・実績評価 ・今後の造園界の将来構想のための戦略的活動展開の企画・立案 ・会員からの提案による企画の立案・推進	水庭 博 (茨城) ㈱水庭農園 荻野 淳司 (東京) アゴラ造園㈱ 小川 巧 (東京) 西武造園㈱ 山田 通明 (群馬) ㈱山梅 森川 昌紀 (埼玉) 東洋ランテック㈱ 大場 淳一 (東京) ㈱大場造園 酒井 一江 (顧問) ㈱淡窓庵
【担当理事】 中嶋 和敏		担い手育成・確保推進部会	・担い手育成・確保行動計画の推進 ・働き方改革の企画・立案・推進	酒井 一江 (顧問) ㈱淡窓庵 中峰 勝美 (北海道) ㈱岩本石庭 小松 恭子 (宮城) 東洋緑化㈱ 大塚 聡子 (埼玉) ㈱矢口造園 松戸 幸子 (千葉) ㈱新松戸造園 桑園亜希子 (東京) 東光園緑化㈱ 中川 京子 (東京) ㈱富士植木 三村佑美佳 (東京) ㈱石勝エクステリア 藤本加奈子 (東京) 箱根植木㈱ 西野 美保 (富山) 西野造園園㈱ 田近 咲 (愛知) フジ造園土木㈱ 畑中雅彦子 (和歌山) ㈱井内屋種苗園 杉澤悠紀子 (山口) ㈱多々良造園 片岡 佳代 (愛媛) ㈱游亀 勝田 美咲 (福岡) 内山緑地建設㈱ 小橋川有紗 (沖縄) ㈱海邦造園
【委員】 市川 秀一 渡部 敦 岩井 雅彦 野村 英樹 谷水 康行 菅 基裕 木上 善貴 下地 浩之	・女性活躍推進部会	女性活躍推進部会	・職場における環境整備策の推進 ・女性の積極的な活用促進策の推進 ・女性定着促進行動計画の推進 ・出前講座の推進	松戸 克浩 (千葉) ㈱新松戸造園 廣部 修平 (北海道) ㈱南香園 山谷 幹樹 (青森) 環境緑花工業 ㈱ 遠藤 征矢 (埼玉) 東光ローンコンサルタント㈱ 藤巻 慎司 (神奈川) 藤造園建設㈱ 岩間紀久裕 (愛知) 岩間造園㈱ 小林 大祐 (京都) ㈱小林造園 小立 亮 (島根) ㈱小立造園 古家 敏弘 (香川) ㈱山地宝松園 米岡伸一郎 (熊本) ㈱東武園緑化
【顧問】 須磨佳津江 浦井 史郎		戦略企画部会	・戦略委員会の対応事項の検討 ・各地域からの検討事項収集	藤巻 慎司 (神奈川) 藤造園建設㈱ 古積 昇 (宮城) 古積造園土木㈱ 松戸 克浩 (千葉) ㈱新松戸造園 酒井 一江 (顧問) ㈱淡窓庵 水庭 博 (茨城) ㈱水庭農園

倫理委員会

・会員企業による造園建設業の事業活動において生じた会員企業倫理要綱に定める違反行為等に関する事項	委員長 有路 信 (一財) 日本造園修景協会 会長 委員 長谷川 周夫 (一財) 建設業振興基金 専務理事 〃 金清 典広 (一社) ランドスケープコンサルタンツ協会 会長
--	--

開催期間：2026 年
9月18日(金)～11月8日(日)

第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波

京都丹波みどりの里まつり

のご紹介

今年の全国都市緑化フェアは、「食農と環境そしてアートで輝く『京都丹波』」をテーマに、亀岡市、南丹市、京丹波町の2市1町と京都府が協力し、京都丹波地域全体で5つの拠点と数多くの魅力的なスポットを設け、地域の魅力を存分に満喫していただくために、京都丹波を1つの会場としています。2か月足らずの開催期間ではございますが、日造協関連行事として、10月8日(木)には造園技術フォーラム、10月9日(金)には総支部長・支部長・事務局合同会議も開催されます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

京都府支部長 高石 正弘

京都丹波とは？

京都府の中央に位置する亀岡市、南丹市、京丹波町のエリアを指し古代の「丹波の国(たんばのくに)」に由来する名称。豊かな自然環境、優れた食材、伝統芸能や祭りなど、「世界で一つ」のキラリと光る地域資源が豊富な地域です。秋から春にかけて発生する「霧」は、京都丹波を象徴する風景として知られています。

京都丹波みどりの里まつりとは？

今回のフェアは「丹念に手入れされてきた京都丹波という名の広大な庭園にゲストを招待し、豊かな実りを披露するフェア」。新しく何かを作り出すのではなく、もともとある自然や暮らしというキャンバスに、食やアートとい

う彩りを添えて、訪れる人々を温かく迎え入れ、その価値を未来へとつなぐ架け橋となるフェアを目指します。

1. テーマは「食農と環境そしてアートで輝く『京都丹波』」

もともとある豊かな里山や農地といった自然を活かし、それらに触れることでその価値を再認識するというアプローチをとっています。京都丹波全体を会場に見立て、伝統的な自然景観とそこで育まれた豊かな食文化、さらには芸術家の作品を掛け合わせた魅力を発信します。

2. ありのままの京都丹波

京都丹波を優しく包み込む幻想的な丹波霧と豊かな水系が形作る山、川、水田、畑などが一体となった日本の原風景ともいえる風土そのものを展示の根幹に据え、先人が守り育ててきた自

然と人々の暮らしの調和をありのままに披露します。

3. アートによる空間演出

京都丹波に関わりを持つ多くの芸術家やデザイナーの協力を得ながら、より花と緑と芸術が調和した空間を創出します。

4. 拠点ごとの個性的で多彩な体験空間

天然記念物アユモドキとの共生を図るオーガニックビレッジパーク、約800万本が咲き誇るコスモス園、ヘビウリの緑のトンネルなど各フェア拠点で地域資源を活かした多彩な体験を用意します。

5. 地方の小規模自治体が連携して開催する新たな試み

2市1町合わせて人口約13万



①京都・亀岡保津川公園および周辺



③園部公園および周辺



②亀岡運動公園および周辺



④わち山野草の森および周辺



⑤京都府立丹波自然運動公園および周辺

第18回 造園技術フォーラム申込開始

第18回造園技術フォーラムは、日造協の主催、(公社)日本造園学会の協力で、2026年10月8日(木)15:30～18:00(予定)、ホテルグランヴィア京都の現地会場(定員200名:先着順)とWEB配信(制限なし)で、日造協会員、造園学会からの発表などを行います。参加費は、日造協・造園学会会員、学生:無料/一般:2,000円(税込)。

第18回
造園技術フォーラムin京都
-造園CPD認定プログラム-

造園技術フォーラムは、これまで日造協と会員企業、造園学会が取り組んできた造園技術に関わる関係者の集まりを、恒例として開催することにより、会員企業のみならず造園業界の技術力の向上を目指すために実施するものです。

令和8年 10月8日【木】

時間 15:30～18:00 (15:00～受付開始)

参加費 日造協会員、造園学会会員、学生は無料
その他は有料(2,000円/税込)

定員 現地参加:先着200名 (定員超過申込)
WEB参加:制限なし

会場 ホテルグランヴィア京都 5階「古今の間」
〒600-8216 京都府京都市下京区丸太町西下
JR京阪駅南口徒歩1分

申込 申込フォームから必要事項をご入力の上、お申し込みください。
(フォーム終了後には、同会場で受取も可能です。お申し込みください。)

主催 (一社)日本造園建設業協会
協賛 (公社)日本造園学会

申込はこちら

申込締切:9月4日(金)

現地参加

WEB参加

申込は、9月4日(金)締切で、下記のQRコードよりお申し込みください。

現地参加

WEB参加

学会の目・眼・芽 第152回

魅力ある造園を発信する人材養成と育成の連携

(公社)日本造園学会会員、西日本短期大学緑地環境学科 学科長・教授 西川真水

社会的な構造の変化・少子化の影響で造園・ランドスケープを学ぶ教育機関、そこで学ぶ学生数も大きく減少しています。日本の総人口は50年後には現在の7割程度まで減少するという推計もあり、そういった社会状況のなかで限られた人的資源を造園ランドスケープの学びに導き、育て続けていけるかが大きな課題であることは間違いありません。

九州は、関東や関西に比べると造園に関する教育機関、企業や団体も少ないこともあり、日常から産官学での多様な連携が行われ、地方からできる「育てる」しくみが生まれています。その中から2つの事例を紹介します。

1つ目は、広く同じ造園を志す将来の仲間を作ること。

専門教育機関で学び友人を作ることもちろんですが、多様な教育機関で育った友人を学生時代から持つことは、造園の世界で成長するための糧になると考えます。日本造園学会九州支部では、将来の仲間を作ことを目的に「学生交流企画ワークショップ」を毎年開催しています。

九州は専門高等教育機関が少ないこともあり短大、4年大、大学院まで交流を行う機会を設けました。そこでは地元造園コンサルや造園業界の若手技術者・デザイナーをチューターに迎え、学生に助言を与え一緒に活

学生たちとにわづくりや花壇、まちづくりを行いながら、実地・現場からランドスケープデザインを考える教育の実践を行っている。また近年は福岡、佐賀で公共空間・都市公園の再整備や指定管理の選考委員としても幅広く活動している。



動することで、学生だけでなく若手技術者自身の学びにもなっています。

2つ目は、日ごろから第一線で活躍する先輩や造園の社会とつながる環境です。

ランドスケープコンサルタンツ協会九州支部(CLA九州)が中心になり、月に一度、勉強と交流を行うサロンのような「FD(福岡のランドスケープを頑張る人の同好会)」を開催し、学生は卒業後も参加し、学び交流を継続しています。

また福岡市造園建設業協会、CLA九州と共催している交流のためのワークショップでも、産官学民の多様な造園関係者が参加し、昨年は

180名が交流しました。それ以外にも様々な産官学のつながりを実感し、さらに卒業後もつながりを継続できる環境が生まれています。

就職後3年までの離職率がクローズアップされますが、近年は5、6年目での離職も増えており、卒業後10年間くらいが社会人の育成・成長にとって重要な時間で、その間しっかりとした後押しが必要なのだと思います。

学生を就職させたら終わりではなく、造園業界と連携し「学校での人材養成」と「社会での人材育成」のプロセスをシームレスにつなげる環境と循環を生み出し、魅力ある造園の世界を地方から発信したいと思います。

緑と歴史が織りなす「亀岡」都市緑化フェアの舞台を巡る

京都府

2026年9月、京都府では「第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波」が開催されます。その主要会場である「京都・亀岡保津川公園」および「亀岡運動公園」を擁する亀岡市は、豊かな自然と深い歴史、そして新しい活気が見事に融合した街です。今回は、フェアとともに訪れたい亀岡の魅力的なスポットをご紹介します。

亀岡の自然をダイレクトに体感するなら、世界的に知られる「保津川下り」は外せません。熟練の船頭が操る和船で、亀岡から京都・嵐山までの約16kmの渓谷を約2時間かけて下る体験は、京都観光の白眉といえるでしょう。また、保津川渓谷の絶景をゆったりと楽しむなら「嵯峨野トロッコ列車」もおすすめです。



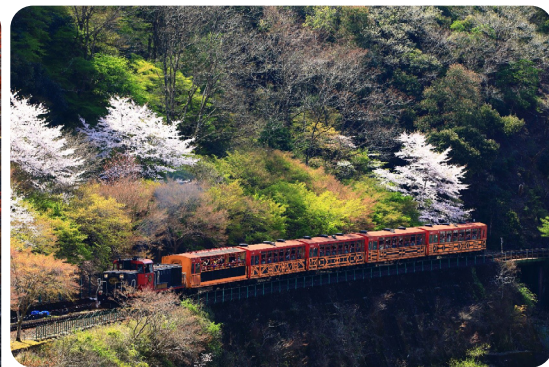
保津川下り

「少し速い自転車」ほどの心地よい速度で走り、沿線の豊かな四季を堪能するのに最適なひとときを提供してくれます。

2020年に開業した「サンガスタジアム by KYOCERA」は、京都府最大級の球技専用競技場として街に新たな活力をもたらしています。

緑化フェア期間中、亀岡駅からこのスタジアムへと続く道は「緑の遊歩道」となり、訪れる皆様を美しい景観でお迎えいたします。

なお、10月9日(金)開催予定の「花と緑の集い」はサンガスタジアム内のフロアが会場となります。



トロッコ列車



サンガスタジアム

亀岡の豊かな味覚に一度に触れることができます。

伝統の舟下りから最新のスタジアム、そして緑豊かな未来へと続く亀岡市。魅力あふれるこの街へ、ぜひ足をお運びください。

京都府支部 田中 孝 (株)右京野造園

新入会員のご紹介 ようこそ日造協へ！

社名/住所 ☎ 代表者/FAX

(有)裕花園 西村 裕史
滋賀県東近江市五個荘竜田町 577-1
☎ 0748-48-8401 FAX 0748-48-8402



社名/住所 ☎ 代表者/FAX

(株)グリーンフィールド 大倉 照実
福岡県北九州市小倉北区山門町 4-30
☎ 093-512-6900 FAX 093-953-6128



日造協賛助会員の紹介 STIHL シュティール 自然と向き合った100年、いま次の100年へ

「自然の中で、自然とともに働く人々の作業をより快適に。」

この理念のもと、STIHL は世界の森林、庭園、建設の現場で、プロの仕事を支え続けてきました。

100周年を迎えた今、私たちは原点に立ち返り、日本語表記を創業家名に忠実な「シュティール」へ。

エンジンとバッテリー、両分野で世界最高水準を追

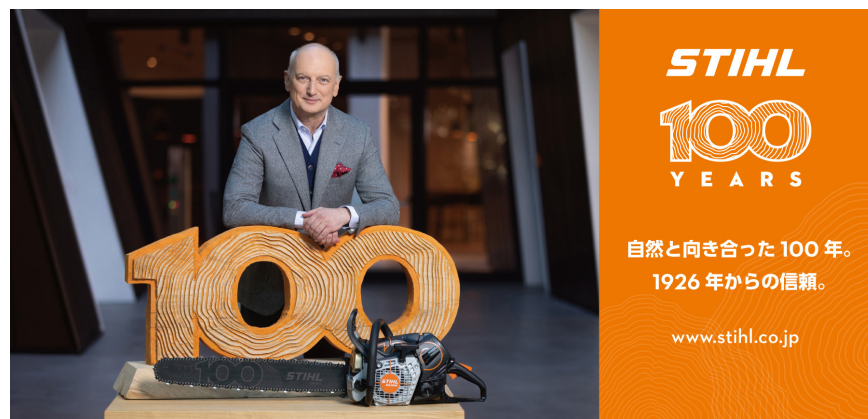
求するブランドとして、これからも日造協の皆様へ信頼される製品をお届けしてまいります。

(株)スチール

代表：中山健太郎

〒329-0529 栃木県河内郡上三川町多功 2570-1

電話：0285-51-1411 FAX:0285-51-1419



験問題と実地試験内容、テキストの改訂について審議

●植栽基盤診断士認定委員会

7/17 2026年度の士補修了試験合否判定、士学科試験問題と実地試験内容、テキストの改訂について審議

●登録造園基幹技能者講習委員会

7/23 2026年度の新規・更新講習の開催計画、テキスト、試験問題について審議

●女性活躍推進部会

7/14 東京都立多摩職業訓練センター（造園土木

学科）出前講座

7/15 東京都立多摩職業訓練センター（庭園施工学科）出前講座

7/16 建設産業女性定着ネットワーク幹事会今年度の国交省事業の情報共有や全国大会等の開催について検討

●2027年国際園芸博覧会特別委員会

7/6 施工計画、提出書類、施工スケジュールなど、日造協出展に関わる打ち合わせ

7/16 博覧会準備状況、屋内・屋外出展の調整状況等について情報共有

編集後記 AI、ロボットの、劇的な進化が世界に変革をもたらす労働環境にも多大な影響が想定されます。どう判断対処するのか！



緑滴

社長に就任して早四年、まさか自分が会社を経営する

とは夢にも思っていませんでした。何の準備もないまま社長に就任しましたが、地元の同業者の皆様や所属している業界団体の方々の助けがあり、社員と一緒に頑張っているところです。

10年ほど前に同世代の友人から「一生楽しめる趣味を持ったほうがいいわよ」と言われました。長くできることはないかと考えていたところ、縁あって習字を始めることになりました。

運動が嫌いな私は（観戦は大好きですが）室内ででき、字がきれいになって損はないだろうと軽い気持ちで書の世界に飛び込みました。

しかし、書は奥深く楷行草のさまざまあり、練習に終わりがありません。年2回の試験の前には1日中何十枚も書き込み、試験結果に一喜一憂しています。

今はまだ満足できる作品を書き上げることはできませんが、師匠からは「満足したらその先はないから」との叱咤激励を

お史君 表還應 藤老 書
夜を更け 日活 西興 何人



書道会への提出作品と使用する硯・墨
いただき毎週2時間のお稽古に通っています。

筆を持ち半紙に向かうと不思議と周りの声が聞こえなくなりとても集中できます。墨の

香りに癒されながら書く文字の白と黒のコントラストに魅力を感じています。今は娘と一緒に お稽古に通い、食事をしながらその日に書いた漢詩や和歌・百人一首について意味を教えあったり文献を探したり、楽しい時間を過ごしています。

仕事も書道もまだ道半ばですが、オンとオフのそれぞれの楽しさを追求していければいいな、と思うこの頃です。

事務局の動き

[8月]

- 1 (土) 若年者ものづくり競技大会～8/2 (日)
- 2 (日) 技能五輪等部会
- 4 (火) 広報活動部会
- 7 (金) 施工管理講習 四国（愛媛）
- 21 (金) 施工管理講習 中国（広島）
- 25 (火) 安全部会

[9月]

- 1 (火) 広報活動部会
- 3 (木) 運営会議
- 8 (火) 富山県立中央農業高校出前講座
- 9 (水) 富山県立小矢部園芸高校出前講座
- 13 (日) 植栽基盤診断士認定試験（学科試験）
・AIPH 定例総会（国際委員会）～17 (木)
- 15 (火) 街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会
- 17 (木) 建専連第2回定時理事会
・第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波

(9/18 (金)～11/8 (日))

- 18 (金) 第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波 開会式
・技術委員会（造園技術フォーラム部会）
- 22 (火) 技能五輪国際大会～27 (日)
- 24 (木) 植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 25 (金) 北陸地方整備局企画部との意見交換会
- 29 (火) 東北総支部交流会
・植栽基盤診断士認定委員会

委員会等の活動

●広報活動部会

7/7 日造協ニュース7月号の内容確認、2026年9月までの記事構成、新巻号について審議

●グリーンインフラ官民連携プラットフォームグリーンインフラ産業展実行委員会

7/28 産業展 2027、GREEN × EXPO ミニ産業展、産業展 2028の内容について審議

●植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）

7/10 2026年度の士補修了試験採点、士学科試

(株)好樹園



中田 裕子